

第3期中期目標・中期計画（概要）

◆ 基本方針

- 地域活性化の中核的拠点の役割を追求
- イノベーション創出と人材育成を通じた地域貢献の推進
- イノベーションに貢献する理工学系・農学系人材の育成の強化
- 小学校教員を中心とした教員養成の質的充実
- 大学院における教育・研究の充実
- 4重点分野（再生可能エネルギー，環境，被ばく医療，食）の研究実施体制の強化
- 大学のガバナンスの在り方の不断の検証・見直し

◆ 教育

【●】…計画番号

- 【1】新しい教養教育カリキュラムの成果の客観的な検証・分析と教育課程への反映
- 【2】教養教育の高年次化，専門教育と接続，学部間や地域との連携による教育内容・方法の改善
- 【5】科目ナンバリングの再構築及びSA（スタディ・アシスタント）の体制整備
- 【8】入学前教育も含めたリメディアル教育の拡充
- 【10】「大学院共通科目」の再構築
- 【12】社会人学生を対象とした新たな教育プログラムの開発・実施
- 【13】全学的な教学マネジメントの確立
- 【16】独自奨学金等による経済的な支援をはじめ学生生活全般にわたる支援を強化
- 【17】学生のメンタル面での相談・支援及び関係教職員への啓発・研修の拡充
- 【18】発達障害を含めた障害学生の学修・生活の支援体制の整備
- 【20】学生が大学の教育・学生支援に協力し主体的に活動する制度を創設
- 【22】入学者選抜方法に関する調査研究・企画立案を担当する組織を新設

◆ 研究

- 【24】新規性・萌芽性のある基礎研究に対する学内公募型研究助成事業等の推進
- 【25】人文社会科学分野と自然科学分野との共同研究を推進
- 【26】人口減少，健康問題，健康長寿という地域課題の解決と，QOL（生活の質）の向上
- 【30】図書館，資料館等を先端研究成果の発信拠点として位置付け，情報発信力を強化
- 【31】研究パフォーマンス分析機能の整備や，リサーチ・アドミニストレーション機能の充実
- 【33】産金学官による戦略別・分野別クラスターを組成するなど，学外とのオープンな連携体制を強化
- 【34】未利用特許のライセンス供与を含む活用数や地域企業との共同出願特許件数の増加

◆社会連携

- 【35】地域の課題（ニーズ）と大学の資源（シーズ）の効果的なマッチング
- 【36】社会の多様なニーズに応じた教育機会の提供
- 【37】貴重資料の公開，特色ある地域文化に関する書籍刊行，研究成果の展示の実施

◆グローバル化

- 【39】海外拠点等を活用した教職員・学生の国際交流の推進
- 【40】英語による授業の拡充
- 【41】学生の海外派遣について，経済面を含めたサポート体制を強化

◆附属病院

- 【43】クオリティ・インディケータ（医療の質に関する指標）を新たに設定
- 【46】高度医療を提供できる専門医の養成
- 【47】医療人の専門性，国際性の向上及び臨床現場への定着，復帰支援体制の充実

◆附属学校

- 【51】環境教育，健康教育，インクルーシブ教育等の教育プログラムの研究・開発
- 【52】学問領域を融合による，新しい教育方法の研究・開発

◆業務運営等の改善

- 【54】IR（インスティテューショナル・リサーチ）機能の強化
- 【57】ポイント制による教員定員の管理による若手教員の雇用推進
- 【60】民間企業や地域の自治体等との職員の人事交流や英語をはじめとする外国語能力の向上
- 【65】教職大学院の整備
- 【67】附置研究所の機能伸長と柔軟性のある研究組織への再編成
- 【69】新たな基金の創設，積極的な募金活動を展開する体制等の整備
- 【71】新たなコスト削減計画の策定
- 【72】教育研究スペースの共有化，学長のリーダーシップに基づく戦略的な施設の再配分
- 【74】民間手法を活用した企画競争による新たな広報活動の展開

◆その他

- 【77】教育・研究組織の再編を踏まえたキャンパスマスタープランの見直し
- 【81】弘前大学ハザードマップの策定・公表
- 【84】教職員・学生に対する情報セキュリティ教育の充実